

実施日：令和8年（2026年）5月20日・6月10日

研究テーマ：子どもの“想像力”で創る音楽科の授業デザイン～きいて かんじて やってみて～



研究会の達成目標：

児童が、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的なものの見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を身につけることができる音楽の授業づくりについて研究する。

活動内容

5月20日（水）に「打楽器講習会」を豊中市立庄内さくら学園で開きました。講師として、大阪音楽大学の葛西友子先生にお越しいただきました。打楽器のメンテナンスやチューニングの仕方、演奏の仕方について詳しく教えていただきました。分かりやすく丁寧な説明、そして楽しいトークであったという間に時間が過ぎました。スティックやマレットの構え方、太鼓のチューニングをするときは、ゆるめてからしめること、木琴や鉄琴の車輪に油をさしておくことなど、大変勉強になることばかりで、早速次の日から実践することができました。葛西先生、ありがとうございました。

6月10日（水）は地区別研究会を行いました。小学校音楽研究会のメンバーは48人いるので、北東部、中部、南部地区に分かれて研究を進めました。北東部は、7月に行われる公開授業にむけ

での教材研究を行いました。授業のねらいや構想について話し合い、楽器の音色の違いを感じとりながら、友だちと共有するための具体的な手立てについて話し合うことができました。中部は、事前に交流したい内容についてのアンケートをとり、当日を迎えました。「テストや評価の方法」「発表会の選曲」「他教科との連携」など、意見交流会を行いました。音楽専科は、各校に1人のところが多いので、情報共有することが大変貴重な時間となりました。南部は、連合音楽会に向けた演奏指導研究を行いました。音楽会に向けた話し合いや、職員合唱で歌う「いのちの歌」の研究、全員合唱で歌う「ビリーヴ」の研究など、実りある時間を過ごすことができました。

今後の活動

7月公開授業 8月「打楽器講習会②」